



# ニュースレター あすか

2010  
7月号

通算208号

2010年7月1日

## あすか療養センターが 二周年を迎えるにあたり

シヨートステイいわや サブリーダー  
松本 勝幾

あすか療養センターが8月1日で2周年を迎えます。療養センターは、1階がデイサービスセンター「野の花」、2・3階が短期入所生活介護4階が短期入所療養介護施設です。居室は全室個室で定床61床です。出来るだけご自宅での生活に近い環境の中で家庭的なケアを行う為に「ユニットケア」を取り入れています。

私はセンター開設時からいわやのサブリーダーとして勤務していますが、もう2年も経つたのかと、ときの経つ早さに驚いています。開設する前には、ユニットリーダー研修に行きました。ユニットケアの施設の運営についての授業や実習指導を受けてまいりました。

特別養護老人ホームにおいても、従来の大部屋から個室に変わることによってご利用者の生活は大きく変わったといわれています。統計によると、ベッドの上にいる時、昼寝の時間が大きく減り、一方リビングにいる時間、食事にかける時間大幅に増えました。このようにユニットケアを導入することによりご利用者の生活の質が大きく改善する一方、個室化での問題点もあります。居室で過ごされる時間をずっと見守りをすることは不可能ですから、転倒予防に細心の注意が求められます。

また、ユニットケアとは、単に居室を個室化することではありません。「介護が必要な状態になっても、ごく普通の生活を営むこと」に、ユニットケアの原点があります。お一人おひとりの個性が生き、それぞれの生活リズムに合わせて過ごしていただけるような生活支援をしていくことが重要と考えています。

開設当初は、家庭なのだからと、決まったプログラムは作らず、自由に過ごして頂いていましたが、ご利用者様の要望で様々な活動が始まってきました。リハビリも充実してきました。「今日も楽しい1日が過ごせました」「食事がおいしかった」「職員さんのやさしい言葉に元気が出たよ」「昔、歌った歌を久しぶりに歌って楽しかった」「こんなこと出来ないと思っていたけれど出来たよ……普通の生活の中から生まれるこんな言葉をいただけるようがんばっていききたいと思えます。皆様の声に耳をかたむけ、声を出すことが出来ないご利用者には心の声を感じ取り、きめ細かい個別のケアを実践していきます。そのためには、変化を恐れず、柔軟な対応が出来る能力を養い、変化を力に変えていきたいと思えます。

これからも、ご利用者様、職員が一緒になって楽しい時間を過ごしていきたいと思えます。みんなが幸せに、安らげる療養センターの職員の一員として力を尽くしていきます。今後ともよろしくお願い致します。

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも  
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

### 【目次】

### 【ページ】

1. 小窓の花ことば シリーズ5.....2
2. あすかの一職員としてのクレドへの取り組み
3. あすかグルメだより シリーズ4
4. あすか事業所だより.....3
5. あすか事業所だより.....4
6. 花便り.....5
7. おもしろきかな我が人生  
～伊木 幹枝さん.....6
8. 若竹句会 5月作品抄.....7
9. あすかスタッフに迫る!.....8

# 小窓の花ことば シリーズ5

「リハビリトレーナーの  
「問わず語り」」

小窓の一角がピンク色に染まりました。はなみずきの花が微笑むように満開です。笑顔で、控えめな語りくち、穏やかなものごし、これはTさんの92年の人生をかたどったものです。

Tさんの長い人生の大きな思い出と誇りは、カープの選手への挑戦と毘沙門台団地造成に関わったことと若い頃にハーレー・ダビッドソンに乗って疾駆したことでした。

その思い出を背負って今日もリハビリに励んでおられます。

何しろ真面目です。決められたメニューに従い、きっちりやり通し「もういいですよ」と声かけするまでやめられません。

3kgの重りに乗せたタオルギャザーは、なかなか出来るものではないから、みんながびっくりして「すこいわね」と拍手が湧きあがります。

「最近4kg乗せると足が滑ってよ  
う動きませんわ」と笑顔で言わ  
れます。

いいんですよTさん！足指を動か  
すだけでも立派なりハビリなんです  
よ。



花水木

しゅりあちよーく

リハビリトレーナー

高柿 美恵

## あすかの「職員としてのクレド」への取り組み

「ショート みどりい」

昨年5月、CSクレド委員会が、立ちあがりクレドの意味がわからず、エントランスにある林田正光さんの著書を読み、ホスピタリティ(心のこもったおもてなし)に興味をもちました。

ほめ言葉のシャワー、ノーと言わないサービス等をミーティングで話し合い取り組み、挨拶運動では、立ち止まって挨拶のあとにひとこと付け加える。今ではスタッフ間のコミュニケーションもとりやすく明るい雰囲気となりました。

また、初めてスタッフから頂いたサンクスカードは、ラブレターをもらったくらい嬉しく何度も読みかえし、お礼のサンクスカードには感謝の気持ちを一生懸命に書きました。

職員の行動規範 33項目ができて、今は1級試験に合格するように頑張っています。



ショートみどりい

岡田 真紀

## あすかグルメだより

シリーズ4

つどいの家 藤田和弘

私のお勧めの一押しは、お花見の時期の「お花見膳」でした。食卓に居ながらにして春の息吹を感じられる、色鮮やかな味わい深い渾身の一膳でした。

ほんのり桜の花びらの色を想わせる、錦糸卵をいっばいに散りばめた「桜のばら寿司」をメインに、春の到来を告げる「鱈(さわら)の木の芽焼き」、春そのものの「菜の花の辛子和え」、ふきの入った「野菜の炊き合わせ」、お汁は息吹いたばかり筍が入った「若竹汁」、そしてデザートは桜そのものをイメージした「桜くずまんじゅう」と、どの一品をとっても春、はる、ハルを感じずにはいられず、食べるのが惜しくてずつつと眺めていたいほどの御膳でした。

もちろん味も申し分なく、「つどいの家」のご利用者さまは、お寿司大好きな方が多いので、「美味しいねえ、春じゃねえ。」「こなんじゃったら、毎日でも食べたいね。」と大絶賛でした。

### 「お花見膳」

- ・桜のばら寿司
- ・炊き合わせ
- ・鱈の木の芽焼き
- ・菜の花の辛子和え
- ・若竹のお吸い物
- ・デザート
- ・桜くずまんじゅう
- ・しらす・みかん





ほほお、満足！

じじいの家

5/  
11.12

外出カフェを楽しむ

「じじいの家」では昼食時の外食ランチに続き、3時のおやつ時に外出カフェに出かけました。  
高級感ある雰囲気のあるお店で、好きなドリンクとケーキが選べます。沢山のメニューからたった一つを選ぶのはちょっと一苦労です。いろいろ悩みながら、選んだおやつを前に、みなさんの表情は輝いていました。「自分たちで作るケーキも美味しいが、プロの味はまた格別じゃねえ。」との納得談に、今度はどんなお店に行こうかなあと、次の機会に思いを馳せながらお店を後にしました。満喫感一杯の楽しいひと時を過ごすことができました。



フルーツポンチ作り



シヨートみどりい

5/14

この日は、午前中、みんなでフルーツポンチを作りました。  
皆さんは、三角布・エプロンをつけ、私に、まかせて」と食材別にスプーン、ナイフを使い1口サイズに切っていました。  
できたフルーツポンチは「おいしい」「自分で作ったから、また格別だね」と会話も弾み、緑茶と一緒にいただきました。

みかん、マンゴー、パイナップル、桃、チェリー、バナナ、そしてリンゴゼリー。  
シロップは、みどりいオリジナル風アレンジしてゼロカロリーのカルピスを入れました。

新緑のコンサート

～和の音色～

シヨートいわや

野の花

5/19

野の花といわやの今月のイベントは、「バリオス ミュージック」の方々によるピアノ、琴、尺八、三味線の演奏、美しい歌声の豪華なコンサートでした。  
演奏が始まるとすぐに、会場全体が心地よい雰囲気になりました。みんな、その素敵な楽器の音色と歌声に魅せられ、自然と身体でリズムをとったり、身を乗り出すようにして聴いていらつやいました。最後はみんなで一緒に「故郷」を大合唱しました。笑顔が溢れる中コンサートは幕を下ろしました。「和と洋のコラボレーションが素晴らしいかった。」「昔習った曲が演奏され、その時のことを思い出した。」「大満足のコンサートでした。」  
コンサート終了後はその余韻を楽しみつつ、新茶とおまんじゅうを頂き、とても素敵な一日になりました。







レモン



バラ



モッコウバラ



オーミソガラム



ノースポール

**いわや**では玄関前に花壇がありこの季節は、様々な草花が訪れる皆様をお迎えします。各階のベランダにも花や野菜の苗を植え、すべてのご利用者様に楽しんで頂けるようにしています。

**しゅりあちょーく・野ばら**では、園芸療法に特に力を入れています。皆様と共に育てた、アイリス・バラ・ノースポール・都忘れ・・・花盛りの今時季、建物全体が花に包まれています。花の前で足を止め「きれいなえ。」とおっしゃる皆様の笑顔は、花以上に最高です！

## 花便り

**まやるちょーく**の庭園は、2階のベランダにある小さい庭園ですが春に蒔いたスイートピーがもうすぐ花を咲かせようとしています。トマト・すいか・じゃが芋もどんどん大きくなっています。今年は初めて菊にもチャレンジしています。ご利用者様と一緒に花と笑顔がいっぱいのまやるちょーくを目指しています！

**高橋内科小児科の外来**玄関には、いろいろな種類の季節の花を植えています。

梅雨時季、毎年咲く、紫陽花が今は蕾をたくさんつけています。これからの季節、雨の降る日も通院して下さる患者様を、薄紫色の紫陽花がお迎えするでしょう。



寄せ植え



トマト



サフィニア



バラ



しゃくやく



アジサイ

しゅりあちよーく  
いぎ

# 伊木 幹枝さん

大正14年1月1日(85歳)



## おもしろきかな我が人生



「元気の秘訣は、  
毎日のテレビ  
体操！」



・趣味...俳句・書道・音楽・体操  
・好きな食べ物...なます

### 子供の頃

私は大正14年1月1日に戸河内の三段峡の近くで生まれました。1月1日だから日本中が国旗を立てて祝ってくれる、いい日に生まれたのよ。

父は役場勤め、母は酒屋のかたわら金物屋をしていました。私は五人兄弟の三番目です。皆、仲が良くてね、喧嘩なんか全然せんかったよ。家の周りは山と川しかなかったから、冬は深入山で雪遊びをしていたね。おてんばだからスキーもできたのよ。夏は三段峡のきれいな川で泳ぎよったよ。近所も仲良くてね。物は無かったけど、よその子も家の子も区別なく育ててくれて、皆が親だったね。

### バレエボール

15歳で広島に進徳女学校に行く為に、親元を離れて寄宿舎に入ってたね。背が高くて身軽だったので、バレエボールを始めたのよ。その頃のバレエボールは9人制でね。中衛のセンターを守りよって、朝早くから夜遅くまで練習ばかりしましたよ。寄宿舎の女の先生が、私の事を「ミキちゃん、ミキちゃん。」という可愛がってくれてね。練習が終わって、ブルーマのまま晩御飯食べて予習をしよう。って声をかけてくれて、まるで姉のようにしてくれたのが嬉しかったね。バレエをしていた友達に苦労を共にしているから、学校を卒業してからもずっと仲良く、結婚してからも会ってましたよ。親元を離れていた寂しさもバレエボールで救われて、本当にやってよかったと思うのよ。

### 教員時代、そして結婚

女学校を卒業して看護婦さんに憧れもあつたけど、親の反対もあつて教員の道を選んだね。生徒に、バレエも教えました。優勝したこともあつてね。飛び上がった大喜びしました。教員になった頃は戦時中ね。勤労奉仕や焚き木拾いをしたもんよ。私は百姓をした事がなかったから生徒の方が田植えも稲刈りも、私よりよっぽど上手じゃったよ。稲の束ね方も崩れない束ね方を生徒に教えてもらったり、もちろんだ田植えも私は下手クソでね。足をつっこんだまま動けんようなりよったよ。そしたら生徒が、先生や、苗を持って立つときゃいいよ。」と言ってくれてね。私は、苗を田んぼの外から生徒に渡しよったんよ。勉強できん子は、放課後残して、出来るまで教えよったよ。そういう子がよく訪ねて来てくれてね。おやじみたになつたのが、先生元気か?」って声をかけてくれるんよ。嬉しかったね。

貧しい子、体の不自由な子、色んな子がいたけど、皆自分の子供と一緒に。生んだ子は二人じゃが、生徒は皆私の子供だったね。

22歳で同じ教員をしとつた主人と結婚してね。クソ真面目な人で、本の並べ方が曲がっているのもイヤがとつたよ。でも同じ教員だからやり易かったね。考えていることも良くわかつたね。二人の子供に恵まれた時、「子育ては今しかできない。」と思ひ、思い切って教員を辞めたんよ。子供達が中学生になつてから、薦める方があつて市町村組合の職員になり、定年まで勤めたんよ。主人が7年前に亡くなつた時は、真つ先に教え子が来てくれて、「先生

よ、クヨクヨせんので。何でも言いんさいよ。」というて声掛けてくれた時は、嬉しかったし有り難かつたね。先生をやつていて本当に良かったと思つたんよ。

### そして今

趣味は習字や手仕事、音楽じゃね。特に歌う事が好きでね。昔は主人がオルガン弾いて、二人で唱歌をよく歌つたもんよ。主人は割と歌がうまかつたのよ。昔から散歩をよくしているから、歌を歌いながら歩くのがとても楽しみでね。今日は「あ」のつく歌を歌おう」「雨雨降れ降れ...」「次は「い」のつく歌」今は山中今は浜...」という具合にね。そうすると知らない間に歩いてるんよ。リズムがあるから夢中になり過ぎて道を斜めに渡ることもあるのよ。おかげで足は丈夫で、くたびれんの。今でもしている日々の散歩は、息子も応援してくれとるよ。

しゅりあには、娘が「ここがいいんじゃない?」いうてくれて、来るようになってね。同じ時代を生きてきた人達がいるのでとても楽しいのよ。悔いのない、良い人生で幸せですよ。

ある時、私が元気がないかと思われたのか、「頑張りなさいよ。」と、さり気なく声を掛けて下さつた伊木さん。思わず、胸にグツとくるものがありました。その優しい気持ちに、人にとってどんなに大切な事かという事を学びました。この学びを、介護の実践のなかでいかしていきます。

しゅりあちよーく 中谷百合子



# 若竹句会五月作品抄

## 信廣高陽 選 (平成二十二年)

**豌豆の 豆もふくらみ 缺待つ**

西 富枝

〔寸評〕豌豆が初夏の季語。晩春花が終わると莢(さや)をつけ始め、若くてやわらかいものを摘んで食べます。薄緑色の色合い、歯切れのよさなど新鮮な季節感があります。この句、豆のふくらみ具合が臨場感に富んだ佳句です。

**チューリップ 花びら落ちて 種みのる**

西 富枝

〔寸評〕チューリップは晩春の季語。春咲きの代表的な球根草花です。花の色も豊富で、だれにでも愛されるかれんな草姿が魅力的ですね。球根の肥大をはかるために、花が終わったら、花首のところで摘み取り、涼しい所で球根として貯蔵。

十月頃植えつけます。チューリップの生涯をさらりと五七五にまとめましたね。

**大好きな 餅と葉の香が 桜餅**

中谷 明子

〔寸評〕桜餅が春の季語。塩漬にして保存した桜の葉が句材(くざい)になる例は多いようです。この句も「葉の香」礼讃の作品です。



**春日傘 オソソが気になる 陽射しかな**

中谷 明子

〔寸評〕「春日傘」が春の季語。原句「春日傘オソソの所為(せい)か陽射しが気に」の下五が字余りです。「所為か」の三字を思い切って削ってみました。

**春の日に 大樹の陰で じを敷き**

常広 信枝

〔寸評〕原句「晴れた日に大木の下でじを敷き」とあり、季語が見当たりません。「大木」よりも「大樹」の方がスケールの大きい俳句になると思います。「寄らば大樹の陰」という諺もあります。

**田舎道 菜の花一面 みことなり**

常広 信枝

〔寸評〕「菜の花」が春の季語。春四月ごろの田園は、麦畑の青と、れんげ畑の赤と、菜の花畑の黄とが代表します。この句、一面を菜の花で塗りつぶしたような景色を素直に詠い上げています。

**桜餅 食べてうれしい 母の味**

河野 一枝

〔寸評〕桜餅は春の季語。材料もデザインも昔風の伝統を守り続けていますので、子供心に覚えた母の味を思い浮かべながら食したといううれしくなるような一句です。



**草餅や かこの中にも つめこんだ**

河野 一枝

〔寸評〕草餅は蓬餅(よもぎもち)のことです。桜餅にくらべると、どことなく野趣を帯びている感じで、抹茶と合います。この句、あまりおいしいので勧められるままに頂戴して、かこの中にまでつめ込んで持ち帰ったという奔放の一句。

**晩春や 影を求めて 立ち止まる**

熊本ハツエ

〔寸評〕晩春が春の季語で、陰暦三月(陽暦四月)の異称。春たけなわの季節であり、遊楽シーズンですね。この句、好天に恵まれて歩を伸ばしたものの、一寸汗ばんできたという、季節感を敏感に捉えた一句。

**桜かな 花よりだんご 座り込む**

熊本ハツエ

〔寸評〕上五に当る導入部に「桜かな」と、いきなり焦点を合わせ、力強く切り出していますね。倒置法という詠み方ですね。花よりだんごときめて桜かなとくらべてみてください。



**つつじ咲き 完成まちか 花の丘**

小西 春良

〔寸評〕「つつじ」が晩春の季語。作者の「花の丘」を句材とした作品が多いことにお気づきでしょうか。中七の「完成まちか」に情熱を感じます。

**花冷で どうしようか 八重桜**

小西 春良

〔寸評〕「花冷」はなびえ(なび)が晩春の季語。桜の咲く花時は陽気が変わりやすく、ふいに薄ら寒さが訪れてくることがあります。京都の「花冷」は有名。「八重桜」も同じく晩春の季語。桜の中では開花が最も遅いと言われています。八重桜が花冷に出くわす確立が高いのでこのような俳句があってもおかしくありません。季重(きがさね)をあえて出句した作者の勇気を多とします。

〔ゲスト吟〕

**温い春 心待ちする 蕾かな**

大北 和彦

〔寸評〕「温い(ぬくい)」は暑くもなく冷え冷えもしない春の快い温度です。四季の温度の感覚を季語に言い分けると、春は「温い」、夏は「暑い」、秋は「冷やか」、冬は「寒し」となります。心の中で期待して待っている蕾の気持ちを代弁されたやさしい思いやりの一句とみました。

〔選者 吟〕

**苗代や 親子で覗く 寒凜紗**

信廣 高陽

# あすかスタッフに迫る!



## 外来事務

事務職員

仁川 梨恵さん

( 昨年11月よりアルバイト勤務、広島ビジネス専門学校卒業後  
今年4月より正社員勤務 )

### Q. あすかへの入社動機は?

A. 家が近所で小さな頃から当院が、かかりつけ医でした。事務の方の笑顔が素敵だったので、是非就職してみたいと思っていました。

### Q. 事務で働き始めて5カ月経ちましたが、仕事の覚え具合・職場の環境はどうか?

A. 仕事は覚える事がたくさんあって大変ですが、新人習熟要件に沿ってひとつずつきちんと仕事を覚えています。先輩のエルダーが分からないことは丁寧に指導して下さるので、とても居心地の良い職場です。

### Q. 働いていて、とても嬉しかったことがあったそうですね?

A. 3歳ぐらいのお子さんと一緒に来院された、おばあちゃんが「この子、なかなか薬を飲んでくれなくて・・・」と困っておられたので「薬、頑張って飲んで早く病気を治そうね」と励ましました。そのお子さんが、診察が終わって帰られるときに「お姉ちゃん、あげる!」と持っていた花をくれました。その時は、とても嬉しかったです。その後、ドライフラワーにして今でも大切にしています。

### Q. 映画鑑賞が趣味だそうですね。

A. 感動した映画は、韓国映画の「ディジー」と「頭の中の消しゴム」です。どちらも純愛で、すごく泣けました。特に「頭の中の消しゴム」は切なくて考えさせられることが多かったです。

### 先輩スタッフから

数ある業務を一生懸命覚えようとしている姿は、応援したくなります。また、とても明るい性格なので、すぐ職場にも打ちとけて頑張っています。

外来で会った時には声をかけてみて下さい。仁川スマイルできっと癒されるはずですよ。インタビューー 浜本 正美

3S

Specialist (専門家)

### ~ 医療法人あすかの理念 ~

職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

当法人は ISO9001 の認証施設です



Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

### 【編集後記】

医療法人あすかでは、各事業所で園芸に取り組んでいます。今の時季、春の花がとてもしっかり咲いていますのでご紹介させて頂きました。心なほ嬉しです。また、今、植えているトマトやすいか、じゃがいもなどの収穫も今から楽しみです。その頃、また通信でご利用者様の嬉しそうなお顔を一緒にご紹介したいと思えます。

毘沙門クリニック  
ショートステイ いわや  
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門台東1丁目24・16  
デイサービスセンター しゅりあちよーく  
デイサービスセンター 野ばら

高橋内科小児科医院  
デイサービスセンター まやるちよーく  
通所リハビリテーション すてっぷ  
ショートステイ みどりい  
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井2丁目12・25

あすか福祉用具貸与事業所  
あすか病児保育室

あすか居宅介護支援事業所  
082・830・5177

緑井3丁目20・1・103

医療法人あすかの医療・介護関連施設